

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(数学) 科のヒット授業案

教科名 数学科

単元・題材名

2章 連立方程式 2節 連立方程式の利用

授業のねらい・目標

速さ・時間・道のりに関する数量関係を、連立方程式で表すことができる。

(大まかな流れ)

① 基礎の課題

0さんは14時30分に学校を出発して64km離れたUSJに向かいました。はじめは時速4kmで歩き、途中から時速120kmの電車に乗るとUSJには16時に着きました。歩いた道のりと、電車に乗った道のりはそれぞれ何kmですか。

② ジャンプの課題

0さんは10時に学校を出発して64km離れたUSJに向かいました。はじめは時速4kmで歩き、途中から時速16kmの自転車にりましたが、途中でパンクしてしまいUSJまで時速2kmで自転車を押して進むことになりました。

ちなみに…

パンクで自転車を押した道のりは歩いた道のりの3倍で、パンクで自転車を押した時間は歩いた時間と自転車の時間の合計の1.5倍です。

0さんは何時にUSJに着いたのでしょうか。

この授業の見どころ(学び合いをどう生かすかなど)

- ・基礎の課題では、話し合いの中で立式することの難しさを解決できるようにしたい。
- ・ジャンプの課題では「文字を消す」という基本に立ち返ることで、全員が解法について話し合えるようにしたい。
- ・身近な問題について連立方程式を用いて考えることで全員が問題に向き合えるにしたい。

授業を担当する人

丘澤慎之介